

官民連携による路面 PV・壁面 PV 事業の導入検討について

～ 岡崎市の事例 ～

はじめに

- 本資料は、これから路面 PV・壁面 PV を導入しようとする地方公共団体の検討の参考になるよう、岡崎市における路面 PV・壁面 PV 事業の検討のプロセスや内容を紹介するものです。
- 岡崎市では、市の中心市街地である「乙川リバーフロントエリア」に、路面 PV・壁面 PV の設置によるオフサイト電源整備を促進し、エリア内でのエネルギーの地産地消を目指す事業に取り組んでいます。
- 令和4年度には、国土交通省の「官民連携グリーンチャレンジモデル形成支援」を受け、路面 PV・壁面 PV の設置促進事業の検討を行いました。本資料は、その取組を元にとりまとめたものです。

1 路面 PV・壁面 PV とは

路面 PV とは

- 路面 PV 事業とは、路面に太陽光パネルを敷き詰めて発電する事業のことを言います。
- 昼間に路面において発電した電力を蓄電しておき、夜間に横断歩道の白線や停止線を発光させたり、街路灯を点灯させたりする活用が想定されます。また、電動サイクルや電動キックボードなどスローモビリティ機器に給電する充電施設としての活用や、災害時の非常用電源としての活用も期待されています。

<メーカーと商品の一例>

【東亜道路工業株式会社×コラス・ジャパン株式会社】

日本の高温で多湿な環境下に適応するための材料開発を進め、2022年6月より舗装型 PV の「Wattway (ワットウェイ)」の販売を開始している。設置面積の目安は 3~18 m²程度、最大発電量は 375~2,250Wp、標準蓄電容量は 1~10kWh 程度を設定している。¹

【株式会社 NIPPO×MIRAI-LABO 株式会社】

薄膜シリコン(アモルファスシリコン)型太陽電池を透明プラスチックでカバーしたもので、2018年11月 NIPPO 総合技術センター(さいたま市)敷地内の約 20 m²に試験的に施工し、耐久性や発電性能などを検証している。道路に PV を敷設し路面で発電を行い、発電した電気を蓄電池に溜め夜間は LED ライト等に使用する電源システムを開発している。²

【大成建設株式会社×大成ロテック株式会社】

長州産業製の PV を採用している。通常時は LED 照明(街路灯)など、非常時には可搬式の蓄電池および外部への給電用のコンセント(USB も)への利用を想定している。充電施設として電動キックボードなどスローモビリティ機器への活用も可能である。駐車場等に設置することで系統電源との連携を行う中・大規模での活用等、様々な方法が可能である。³

【早水電機工業株式会社×ソーラーフロンティア株式会社】

路面 PV として発電するだけでなくガラス導光板を複層状に合わせることで、昼間に PV で発電した電気を付属のバッテリーに充電し、夜はその電気でガラス導光板を光らせることができる。ガラスには、文字やイラストが印刷でき、誘導や防犯灯などとして活用できる。また、余った電力は街路灯や植栽帯・舗装の散水設備などに使用可能である。歩道が足元から明るくなるので、防犯性・安全性向上も期待できる。⁴

¹ 東亜道路工業株式会社ニュースリリース「太陽光発電舗装システム (Wattway) の普及に向けてフランスの Colas 社およびコラス・ジャパンと技術協力」(2021年8月20日) (<https://www.toadoro.co.jp/news/news/colas.html>)

² メガソーラービジネス(日経 BP 社)「『路面で太陽光発電』、NIPPO が 2022 年までに実用化」(2019年7月20日) (<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/00088/?ST=msb>)

³ 大成建設株式会社ニュースリリース「電動小型モビリティ試乗体験会「モビリティサーキット in マリノア」開催のお知らせ」(2022年1月7日)

(https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2022/220107_8642.html)

⁴ 早水電機工業株式会社、ソーラーフロンティア株式会社プレスリリース

「早水電機工業とソーラーフロンティア、東京ビッグサイトに舗装型太陽光パネルを設置 東京都が実施する『再生可能エネルギー見える化モデル事業』の一環で」(2020年3月20日) (<https://www.solar-frontier.com/jpn/pdf/news/2020/0330.pdf>)

壁面 PV とは

- 壁面 PV 事業とは、建物の外壁や窓に太陽光パネルを設置し発電する事業のことを言います。
- 太陽光パネルを屋根だけに設置する場合に比べ、太陽光パネルの設置面積を拡大し、建物全体での発電量を増やすことができます。今後、ZEB の実現に向けて、壁面 PV の設置が広がっていくことが期待されています。

<メーカーと商品の一例>

【AGC 硝子建材株式会社】

AGC 硝子建材が壁面 PV モジュールの商品として「サンジュール®」を展開している。建材一体型の壁面 PV となっており、ガラスの採光性と高耐久性を備え、長期的な利用が可能となっている。また、両面受光タイプを設置することにより、垂直設置でも効率よく発電が可能である。⁵

【株式会社カネカ×大成建設株式会社】

PV を外装パネル化したソリッドタイプと、ガラスにストライプ（縞）状の PV を組み込み、窓ガラスに必要な眺望、採光、断熱、遮熱を確保したシースルータイプを組み合わせたものである。一般的な外装材と同等の耐久性があり、PV が外装材と一体化しているため施工性に優れ、また発電を 30 年以上持続することができる。⁶

【太陽工業株式会社】

太陽工業が販売するシースルー型 PV。公共施設や大型商業施設等において既に約 200 件のシースルー型 PV の導入実績がある。最近では旭電業が本社ビルの壁面ガラスに採用しており、本事例では屋上、壁面に設置した PV によって売電を行っている。⁷

【NTT アドバンステクノロジー株式会社×inQS 株式会社】

inQS が開発し NTT アドバンステクノロジーが販売する発電ガラスは、SQPV（Solar Quartz Photovoltaic：無色透明型光発電素子技術）を活用し、無色透明発電ガラスである。

表面、裏面、斜面から入射する太陽光からも発電が可能となっており、既存の窓の内側から取り付けることも可能である。⁸

⁵ AGC 硝子建材株式会社ウェブサイト「製品情報」サンジュール®
(https://www.agc-gk.com/bldg/products/sunjoule/?doing_wp_cron=1675770499.4839050769805908203125)

⁶ 大成建設株式会社ニュースリリース「外壁・窓で発電する外装システム『T-Green® Multi Solar』を開発」(2019年12月19日)
(https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2019/191219_4837.html)

⁷ 太陽工業株式会社ニュースリリース「日本最大級、発電するガラス壁の事務所ビル」(2018年11月22日)
(<https://www.taiyokogyo.co.jp/blog/news/a78>)

⁸ NTT アドバンステクノロジー株式会社ニュースリリース「「SQPV」を活用した無色透明発電ガラスの販売開始～海城学園様サイエンスセンターに初めて導入～」(2019年9月1日)
(<https://www.ntt-at.co.jp/news/2021/detail/release210901.html>)

2 岡崎市における路面 PV・壁面 PV 事業の概要

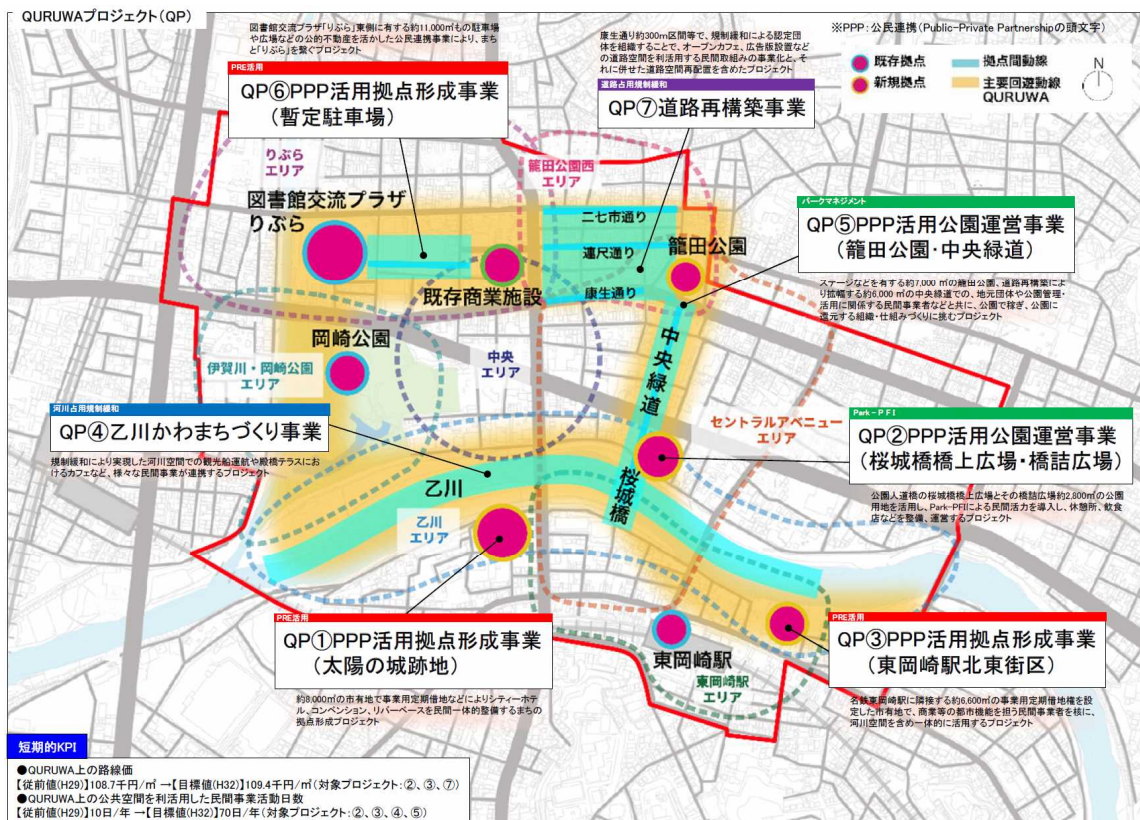
岡崎市「路面 PV 及び壁面 PV 導入促進事業」

本事業は、岡崎市中心市街地の岡崎城を含む乙川リバーフロントエリア(以下、「対象エリア」という。)において、脱炭素を推進するために、路面 PV・壁面 PV の設置によるオフサイト電源整備を促進する事業です。

【対象エリアについて】

対象エリアは、古くは中世の鎌倉街道宿場町、近世の岡崎城下町・東海道宿場町、近代の行政拠点・経済拠点等、時代に合わせて柔軟にその役割を変化させながら、広域で中心的な役割を担い、市民をはじめ多くの人の愛着を集めるエリアです。

対象エリアにおいては、これまでも各種国支援メニューや官民連携により都市再生を進めてきており、コロナ禍にあっても徐々に民間投資が具体化しています。



対象エリアにおける官民連携事業

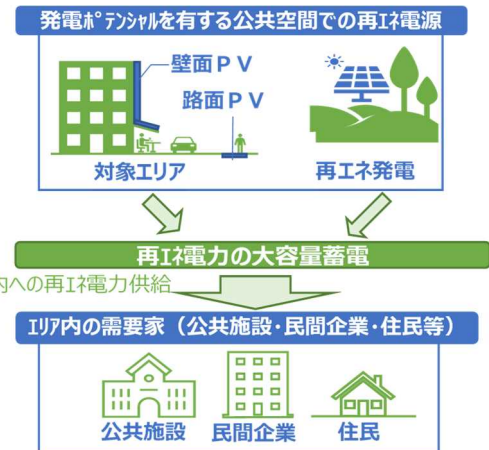
出典: QURUWA 戦略～乙川リバーフロント地区官民連携まちづくり基本計画
(岡崎市、平成 30 年 3 月策定、平成 31 年 3 月改訂)

【事業の目的】

岡崎市は、従前より地域電力小売会社を設立するなど、脱炭素に向けた取組に力を入れており、公共及び民間投資が集中する中心市街地においても、特に脱炭素を推進することを目指しています。

一方、対象エリアは、オフィス・マンションが立ち並び、今後も民間投資（オフィス建替え・マンション建設等）の活性化が期待され、需要過多の傾向があることから、電力供給量の確保が課題となっています。

本事業は、このような背景を踏まえ、公園・河川・道路等の公共空間が半分を占めるこのエリア内で、官民連携により、路面PV・壁面PVの設置によるオフサイト電源整備を進めようとするものです。



事業の全体イメージ

【候補地】

候補地は以下の ~ の 6 か所です。今後、発電事業者等からの提案を受けての追加も想定しています。



©NTT 空間情報

候補地 乙川河川緑地

有効幅約 15m、延長約 800m
令和4年度に路面 PV の実証実験(路面 PV 設置及びグリーンスローモビリティ導入)を行う予定の区域
河川敷であり、周囲に高層建物が立地していない。



候補地 岡崎公園内(多目的広場)

約 1ha
本市の象徴である「岡崎城」がある岡崎公園内の多目的広場
岡崎城において夜間ライトアップを実施しており、需要家(供給先)として活用が期待

候補地 図書館交流プラザりぶら東

道路幅員約 22m、延長約 160m
対象エリア内の拠点として位置づけられる「図書館交流プラザりぶら」東側の敷地
高層マンションが隣接しており、日影となる時間帯がある。



候補地 康生通り

道路幅員約 19.5m、延長約 200m
図書館交流プラザりぶらと日常的な賑わいのある籠田公園をつなぐ動線であり、対象エリアにおいて象徴的な通り
沿道の住民等がまちづくりに対して積極的であり、需要家(供給先)としての協力が期待

候補地 中央緑道

道路幅員約 30m、延長約 300m
籠田公園と乙川河川緑地とを繋ぐ沿道で、歩行者空間を優先としている。
籠田公園におけるイベント利用が多く、需要家(供給先)としての協力が期待。

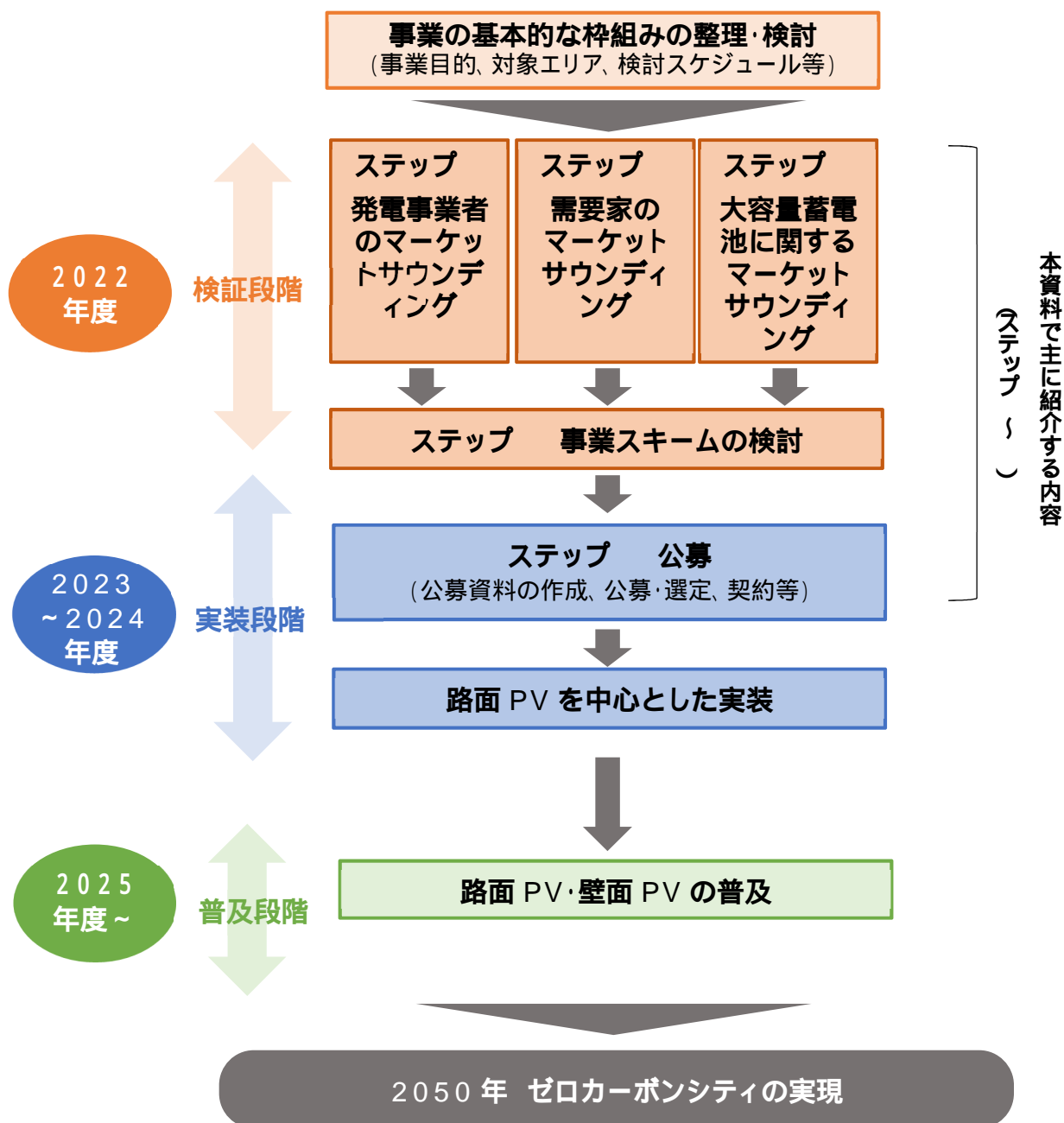


候補地 岡崎市役所西駐車場

約 1,600m²
岡崎市役所来客者用の4階建て駐車場
屋上は駐車場と喫煙所として利用しているが、来客者の駐車場利用は少なく、周囲に高層建物が立地していない。

3 導入検討の手順

岡崎市では、2050年のゼロカーボンシティの実現を目指し、検証、実装、普及の段階を経て事業を進めることとしています。検証段階である2022年度については、路面PV事業の実装に向けた調査・検討を中心に、マーケットサウンディングや事業スキームの検討を行い、公募準備を進めました。本資料では、これら2022年度の実施内容について主に紹介します。

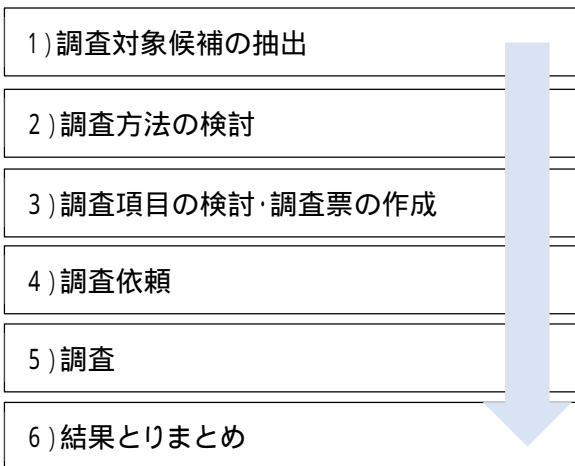


ステップ 発電事業者のマーケットサウンディング

【目的】

候補地の検討や導入コストの試算、スキーム検討に資する基礎情報の収集
当該事業への参画意向のある企業の把握

【実施の流れ】



【実施内容】

1) 調査対象候補の抽出

発電事業者となり得る企業を調査対象候補として抽出します。設備の導入実績を有するメーカーや施工業者が主たる候補となります。幅広く調査対象を抽出するために、業界団体に所属する企業を洗い出すことも有効です。

岡崎市では…

(調査対象候補)

対象 : 路面 PV・壁面 PV の導入実績を有するメーカー・施工業者

対象 : 太陽光発電協会(JPEA)に所属する企業

対象 : 岡崎市の先進的な取組に興味・関心が高い企業

「岡崎市スマートコミュニティ推進協議会」及び「SDGs 公民連携プラットフォーム」

対象 : その他、これまでの岡崎市の取組経緯から意向調査が有用と考えられる企業

2) 調査方法の検討

調査目的を踏まえ調査方法を検討します。意向調査の方法には、対面方式の場合、グループヒアリングや個別ヒアリングの形式がありますが、具体的なコストや参加意向を確認する手法としては、個別ヒアリングが適当です。

岡崎市では…

(調査方法)

一対一の個別サウンディング(最大1時間程度)

web(Zoom)による実施

3) 調査項目の検討・調査票の作成

調査目的を踏まえ、調査項目を検討し、調査票を作成します。調査のねらいを明確にし、それに対応した簡潔でわかりやすい設問とすることが重要です。

岡崎市では・・・

(調査項目)

- (1) 本事業への関心を持った理由
- (2) 候補地
 - 最も望ましい候補地
 - 候補地ごとの発電量
- (3) 導入設備の性能
 - 発電能力
 - 耐久性(耐用年数)

- (4) 望ましいスキーム
 - 設備の所有
 - 需要家(供給先)の想定
 - 事業期間
 - コスト(整備費・維持管理費・撤去費)
- (5) 発電電力の活用アイデア
- (6) その他懸念されるリスク
 - (蓄電池の確保、事業期間終了後の設備の取扱い等)

4) 調査依頼

調査対象候補者に、調査への協力を依頼します。調査の趣旨や方法・時期などの調査概要のほか、対象となる事業等の概要、調査票を用意し、個別に調査対象者に連絡します。期日を設定し、調査に協力いただけるか否か、また調査希望日時を回答いただき、調査日程を調整します。

岡崎市では・・・

対象 については個別に調査依頼を行い、対象 については各団体への情報提供を行い、調査への参加企業を募集しました。

5) 調査

個別ヒアリング形式で調査を実施します。

岡崎市では・・・

路面 PV については7社(グループ)、
壁面 PV については2社にヒアリングを行いました。

調査対象企業には、事前に調査票を確認いただき、調査前日までに簡単な回答を提出していただきました。これに沿ってヒアリングを進めることで、論点がずれることなく、効率的・効果的に調査を実施することができました。

6) 結果とりまとめ

調査の記録を作成し、調査結果をとりまとめます。

岡崎市では・・・(主な調査結果)

	【路面 PV】	【壁面 PV】
設置場所	いずれの候補地も可能(乙川河川緑地、りぶら前、康生通りの人気が高い)	新設施設
設備の所有	民間	施設所有者(民間 or 公共)
需要家(給電先)	自家消費(モビリティ等の民間サービス、公共設備)	自家消費(設置建物における電源)
事業期間	1～3年程度	(民間投資による設置であるため事業期間なし)
コスト	民間(+公共の一部負担もしくはインセンティブの付与)	民間+公共(補助金等)

この調査では、電力の活用方法について、モビリティ電源(キックボードや自転車、EV カー ワイヤレス給電を含む)、街路灯・庭園灯(低位置照射灯含む)、横断歩道の注意喚起灯、監視カメラ電源、地域情報サービス(Wi-fi、カメラ内蔵スマートポール)、デジタルサイネージ、ミストシャワー、保水性舗装の水ポンプのモーター電源など、様々なアイデアが得られました。これらを参考に、需要家へのマーケットサウンディングの項目を組み立てることができました。

ステップ 需要家のマーケットサウンディング

【目的】

- 当該事業への参画意向のある企業の把握
- 導入への課題の把握や公募に向けた取組の検討に資する情報の収集
- 導入する電力設備のアイデアの収集

岡崎市では・・・

【路面 PV】

路面 PV に係る次年度の導入促進事業における協力企業として、発電事業者と連携した提案が可能な具体的企業を把握し、導入促進事業の公募に向けた取組を検討するために調査を実施しました。

地域の視点で、導入が望ましい電力設備のアイデアを幅広く収集することもねらいとしました。

【壁面 PV】

対象エリア内に建築物を保有している企業、または新規投資を検討している企業のうち、壁面 PV の導入に意向のある企業を把握し、導入におけるハードルや必要な公共支援等について検討するために調査を実施しました。

【実施の流れ】

調査の流れや、調査実施内容は、「発電事業者のマーケットサウンディング」と基本的には同じです。以下では、特に岡崎市における取組について説明します。

【実施内容】

1) 調査対象候補の抽出

発電事業者とのマッチングにつながるよう、発電事業者のマーケットサウンディング結果を踏まえて需要家を想定したうえで、調査対象候補を選定します。

岡崎市では・・・(調査対象候補)

【路面 PV】

EV・グリーンスローモビリティ関連企業

- ・EV カーシェア
- ・電動キックボード
- ・電動自転車

対象エリア内に公益的な電力消費設備を所有する企業・団体

- ・地域交通事業者
- ・駐車場事業者
- ・スマートコミュニティ推進協議会

【壁面 PV】

【壁面 PV】

対象エリア内にオフィスを所有する民間企業または新規投資を検討している企業

- ・岡崎市に関心の高いディベロッパー
- ・金融機関

発電事業者のマーケットサウンディングで確認した想定発電量、望ましい設置場所、電力の活用アイデアなどを踏まえ、路面 PV については、モビリティ関連企業のほか、電灯や監視カメラなど、エリア内で公益的な電力消費設備を所有する企業や団体を対象としました。また壁面 PV については、このエリアでオフィスを所有する企業のほか、新規投資を検討している企業の把握も視野に入れ、広く調査協力企業を募ることとしました。

2) 調査方法の検討

岡崎市では・・・(調査方法)

- 一対一の個別サウンディング(最大 1 時間程度) 電力活用の内容や協力条件等に関する調査であるため。
- web(Zoom)による実施

3) 調査項目の検討・調査票の作成

給電の条件や課題などを的確に把握し、発電事業者とのマッチングにつながるよう、調査対象ごとに調査項目を設定しました。

岡崎市では…(調査項目)

EV・グリーンスローモビリティ関連企業

- (1)カーボンニュートラルに向けた社内動向等
- (2)再エネ活用の取り組み事例
- (3)路面 PV 等を活用して提供可能と考えられる自社サービス
- (4)サービス提供に必要な発電量
- (5)サービスの提供場所・必要なスペース等
- (6)導入促進事業への協力条件(課題・留意事項)及び望ましい候補地
- (7) 協力意向のある企業名の公表可否

対象エリア内に公益的な電力消費設備を所有する企業・団体

- (1)カーボンニュートラルに向けた社内動向等
- (2)対象エリアにおける活動・取組の現状
- (3)対象エリア内における主な電力設備
- (4)対象エリア内で電力を活用して実施可能な取り組みアイデア

対象エリア内にオフィスを所有する民間企業または新規投資を検討している企業

- (1)カーボンニュートラルに向けた社内動向等
- (2)対象エリア内への新規投資の予定及び当該建築物の詳細
- (3)壁面 PV 導入に関する協力意向・条件
- (4)協力意向のある企業名の公表可否

4) 調査依頼

岡崎市では…

候補となった調査対象事業者に個別に調査依頼を行いました。

5) 調査

岡崎市では…

調査協力が得られた3社にヒアリングを行いました。また、岡崎市内でスマートごみ箱(非接触ごみ収集)の実証実験に取り組んでいる早稲田大学小野田教授と意見交換を行いました。

6) 結果とりまとめ

岡崎市では…(主な調査結果)

<p>K 社 (EV・グリーンスローモビリティ関連企業)</p>	<p>シェアサイクルのチャージャーステーションに給電可能。 工事は不要で、家庭用コンセントレベルのものがあればよい。電源が確保できる場所であればサービス提供可能。 収益は利用回数に依存するため、交通結節点等に設置することが大前提。ステーション開設する際に市の負担が必要となる。</p>
<p>早稲田大学 小野田教授</p>	<p>スマートごみ箱(非接触ごみ収集)をはじめモビリティの実証実験に取り組んでおり、再エネ電力を使って実施したい。 ごみ箱機能だけでなく、見守り(警備)、蓄電池積載など、多機能型にしていくことも想定している。 路面 PV による電力供給とのマッチングができるとよい。</p> <div data-bbox="861 1680 1372 1948"> </div> <p>(出典) 早稲田大学小野田研究室提示資料</p>

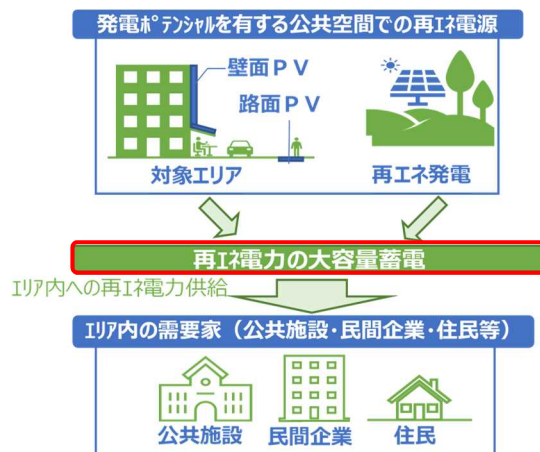
ステップ 大容量蓄電池に関するマーケットサウンディング

【目的】

大容量蓄電システムの設置に関する適地や課題の把握

岡崎市では・・・

将来岡崎市では、対象エリア内に大容量蓄電システムを設置することにより、エリア内で再生電力を蓄電・供給及び非常時のバックアップ電源とすることを目指しています。そのため、大容量蓄電システムの設置に関する適地や課題を把握することを目的に調査を実施しました。



【実施の流れ】

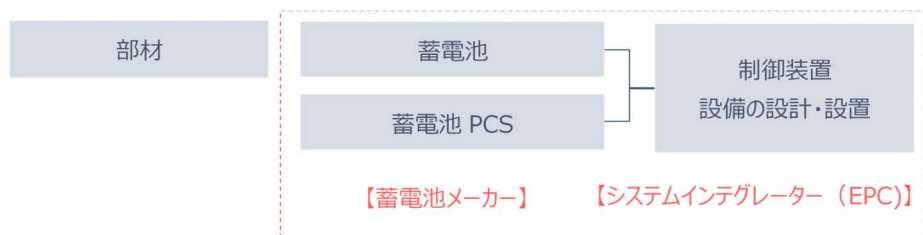
調査の流れや、調査実施内容は、「発電事業者のマーケットサウンディング」と基本的には同じです。以下では、特に岡崎市における取組について説明します。

【実施内容】

1) 調査対象候補の抽出

岡崎市では・・・(調査対象候補)

蓄電池事業の流通構造は、設備のシステムを構築する「システムインテグレーター」が、事業に適した「蓄電池メーカー」の製品を納入する構造となっています。本調査では、大型蓄電池事業における自社製品を開発しているシステムインテグレーター(蓄電池メーカー兼システムインテグレーター)を対象にヒアリングを実施しました。



2) 調査方法の検討

岡崎市では・・・(調査方法)

一対一の個別サウンディング(最大1時間程度) 各企業の保有する技術等に関する調査であるため、web(Zoom)による実施

3) 調査項目の検討・調査票の作成

岡崎市では…(調査項目)

- (1) 蓄電池の設置に適する場所や敷地の大きさについて
地上(更地・建物内)に設置する場合の条件、留意点について
地下に設置する場合の条件、留意点について
- (2) 大容量蓄電システムの規模
貴社製品の容量、必要な発電量、導入実績(用途・顧客等)
- (3) 蓄電システムのコスト等の動向等について
1kWhあたりの設置コストについて
1kWhあたりのメンテナンスコスト(電池交換を含む)について
活用できる補助メニューについて
最新製品の技術開発等の動向について

4) 調査依頼

岡崎市では…

候補となった調査対象事業者に個別に調査依頼を行いました。

5) 調査

岡崎市では…

調査協力が得られた3社にヒアリングを行いました。

6) 結果とりまとめ

岡崎市では…(主な調査結果)

設置場所	屋外コンテナへの設置が一般的。屋上設置には耐荷重の考慮が必要。 地下への設置は、消防法等の制限があり、困難。
規模	400～500kW(LIB・NaS) 250kW(RF)
コスト	設置コストは10万円/kWh、メンテナンスコストは1～2千円/kWh・年。(RF)
補助メニュー	環境省の補助は需要家側で申請。経産省の補助が創設され系統蓄電池の納入実績が増えている。
技術開発動向	2600kWの大型蓄電池の開発メーカーもあり、変換効率の向上と待機電力の削減が実現されている。(LIB・NaS) 電気自動車を複数台繋ぎ、蓄電池として使用することが可能。(LIB・NaS) 40kWの中型蓄電池を用途に合わせて販売。(RF)
設置に向けた課題	系統接続が必要。 補助金は単年度が多く、工事発注のスケジュールと合わないことがある。 大容量の構想になると、公共だけでの実施は困難。民間の再開発の中でも進めていく必要がある。

ステップ 事業スキームの検討

【目的】

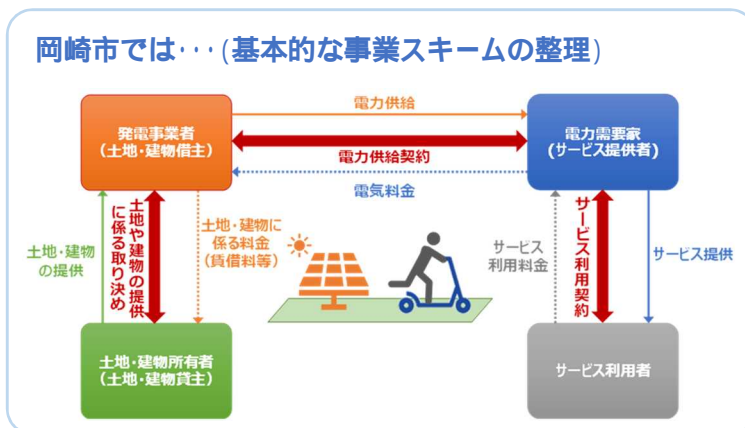
公募に向けた、ステークホルダーの役割や関係の整理、事業計画の明確化

【実施内容】

1) 基本的な事業スキーム(ステークホルダー)の整理

事業のステークホルダーを整理し、基本となるスキームを明らかにします。

路面 PV・壁面 PV を活用する事業のステークホルダーは、一般的に、設備の設置場所を提供する「土地・建物所有者」、設備を設置して発電する「発電事業者」、発電された電力を使用してサービスを提供する「電力需要家」、サービスを利用する「サービス利用者」の4者がいます。



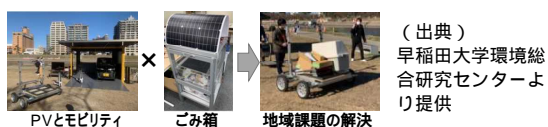
2) モデルケースの事業スキームの設定

マーケットサウンディングの結果を踏まえ、上記の基本的な事業スキームのうち、公共がどの役割を担い、民間にどの役割を委ねるのかを明確にして、モデルケースの事業スキームを設定します。

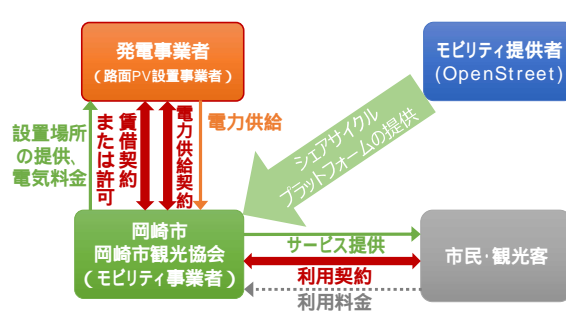
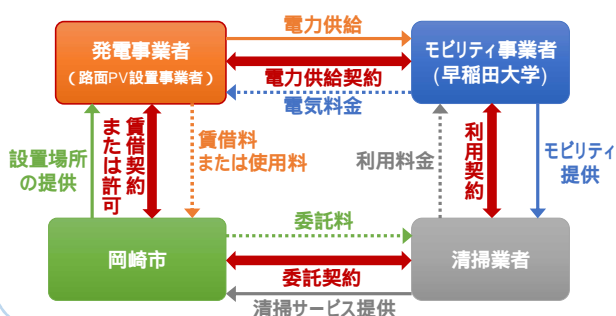
岡崎市では…(モデルケースの事業スキームの設定)

岡崎市では、マーケットサウンディングの結果を踏まえ、2023～2024年度には、路面 PV 事業を中心に実装に向けたモデル事業を実施することとしました。モデルケースとして、マルチベネフィット型モビリティ(非接触型ごみ収集システム)との連携と、シェアサイクルのチャージャーステーションへの給電、の2ケースを設定し、事業スキームを検討しました。

マルチベネフィット型モビリティ (非接触型ごみ収集システム)との連携



シェアサイクルの チャージャーステーションへの給電



ステップ 公募準備

【目的】

事業の目的や条件、事業者が提案を行う際の手続きの設定
「募集要項」や「様式」の準備

【実施内容】

1) 募集要項の作成

マーケットサウンディングを通して明らかになった課題等を踏まえ構築した事業スキームに基づき、「募集要項」を作成します。

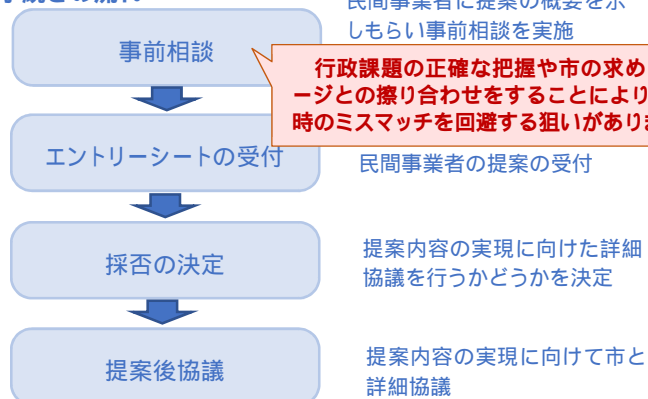
岡崎市では…(募集要項)

募集要項の構成

1. 事業の背景
2. 事業の目的
3. 事業対象地の設定
4. 本事業への市の協力内容
5. 今後のスケジュールについて
6. 本事業への応募資格
7. 手続きの流れ
8. 提案採用後
9. 留意事項
10. 連絡先及び提出先

岡崎市では実施を希望する事業者を選定するための公募ではなく、あくまで事業者からの提案を受け市と事業者で協議し実施する想定であり、複数者からの提案があれば可能な限り認めることを想定しています。そのため「岡崎市公民連携取組方針」及び「岡崎市行財政改革推進に係る民間提案募集要項」における主旨を反映し、募集要項を検討しました。

手続きの流れ



2) 様式の作成

民間事業者が事前相談や提案を行う際に使用する様式を作成します。

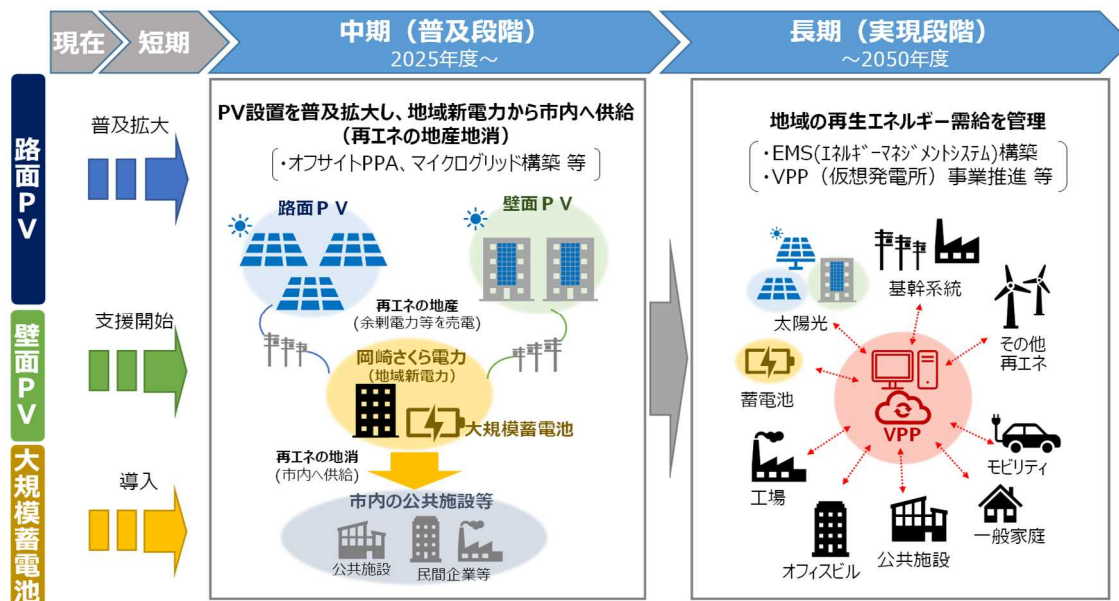
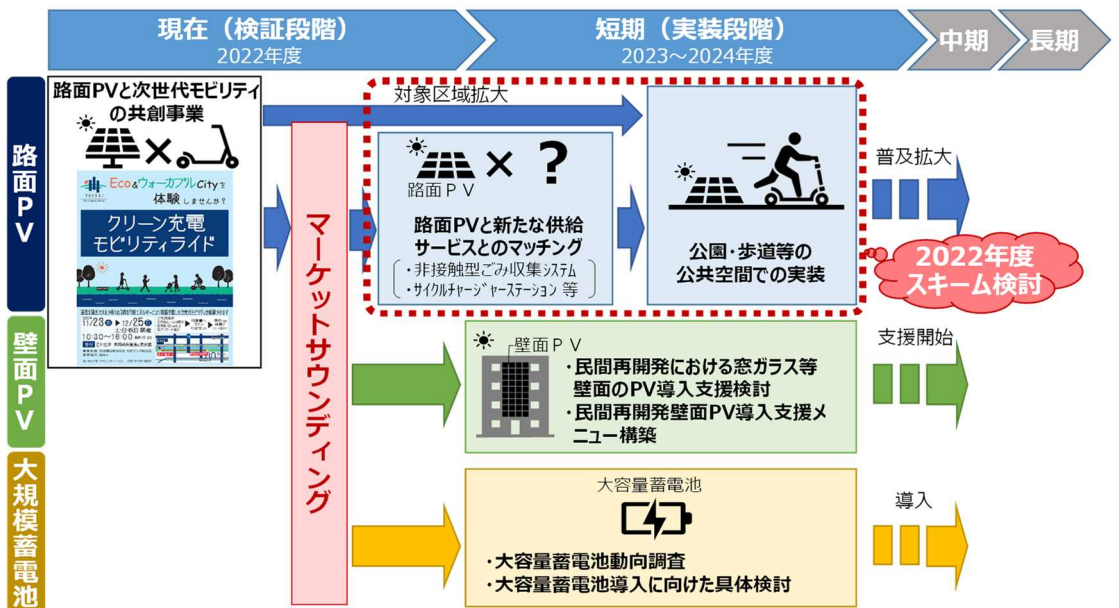
岡崎市では…(様式)

様式名	記載する内容
【様式1】事前相談申込書	1. 提案の類型 2. 提案内容 ・提案の概要 ・相談事項
【様式2】提案書	1. 提案の類型 2. 提案内容 ・提案の名称 ・提案の内容 ・事業の効果 ・収支計画 ・リスク分担 ・その他(提案の独自性、実績等)

今後の展開に向けて

目指す将来像の実現に向けて、着実に取組が進められるよう、全体ロードマップを描きました。

岡崎市では、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて、実装可能な事業から順次取組を進めていく予定です。現在の【検証段階】から、2023～2024年度には路面PV事業を中心に【実装段階】へと取組を進めます。2025年度以降の【普及段階】では、対象エリア内での再生エネルギーの発電量を増やすとともに、地域新電力から市内へ電力供給する仕組みを構築し、エネルギーの地産地消を加速化します。2050年に向けての【実現段階】では、太陽光以外にも含めて、再生エネルギーの発電・調達を促進し、地域全体の再生エネルギーの需給を管理するエネルギーマネジメントシステム(EMS)の構築や、VPP(仮想発電所)事業の推進により、ゼロカーボン社会の実現を目指します。



岡崎市「路面PV及び壁面PV導入促進事業」の全体ロードマップ